

北陸大学 産学官連携に関する中期目標・計画

北陸大学（以下「本学」という。）は、教育・研究の成果を社会に還元し、地域社会の発展に寄与することに努め、「北陸大学産学官・地域連携ポリシー」及び「学校法人北陸大学第2期中期計画」に基づき、産学官連携に関する本学の中期目標及びこれを具現化する計画を以下のとおり定める。

（中期目標）

1. 各学部学科の特色を生かした優れた研究、地域の課題解決など社会ニーズに応える研究を推進する。
2. 産学官連携体制を構築するとともに、産業界や自治体、他大学等との連携プロジェクトを推進する。
3. 若手研究者、女性研究者等、多様な人材が活躍できる環境を整備する。
4. 競争的資金、外部資金の獲得に向けた取り組みを推進するとともに、学内研究費の戦略的配分を進める。

（中期計画）

1. 共同研究、受託研究の推進

社会における研究成果の幅広い活用を推進するため、国内外の大学等研究機関や企業等との共同研究や受託研究に積極的に取り組み、2025 年度に 15 件以上となることを目指す。また、これら研究活動を通じて生じた研究成果については、企業ほか産業界等とともに実用化・事業化等社会実装を図る。

2. 知的財産管理

共同研究や受託研究を含め研究活動により得られた本学の研究成果については、学校法人の知的財産として承継し、適切な管理及び有効活用を図る。毎年 1 件以上、2025 年には 2 件以上の特許出願を目指す。

3. 体制整備

産学官連携活動を積極的に推進するため、産学官連携に関わる委員会組織及び事務組織について、本学が社会のニーズに的確に対応するために必要な体制・機能の見直しを適宜行う。

4. 人材育成

知的財産の創造及び活用等、産学官連携活動を通じて社会の発展に貢献する研究者の育成とともに、知的財産を適切に管理し、社会への還元を促進するための高度研究支援、マネジメント人材の確保・育成に努める。また、若手、女性教員の採用を促進する。

5. 研究資金

競争的資金、外部資金の獲得金額を毎年 10% 拡大することを目指すとともに、学内研究費の戦略的配分を進める。

6. 研究成果の発信、情報公開

本学の研究成果の産業界等への技術移転を推進するため、継続的な研究シーズの発掘を図るとともに、シーズ集の発行や WEB 公開による情報発信を積極的に行う。また、論文投稿数について、国外学術雑誌への論文投稿数年間 50 件、査読付論文の実績のある教員数の割合を 2025 年に 80% 以上となることを目指す。

7. 信頼性の確保

産学官連携活動における信頼性の確保のため、法令・指針等を遵守するコンプライアンスはもとより、利益相反、機密情報管理、契約管理等リスクマネジメントに努める。

以上